

2015年11月26日

2015年度第17回事業推進本部検討会

NPO 法人観光情報流通機構
専務理事 鈴木 耀夫

- 1) 日 時：2015年11月26日（木） 10:00 ～ 15:00
- 2) 場 所：有限会社プラン事務所
(東京都渋谷区広尾 5-8-12-201 広尾ファイブ 201)
- 3) 議 題：
 1. 「宿泊商品の扱い」検討
 2. 官公庁へのマルセイユ報告資料の検討
 3. 増富の湯グラフデータベース化の要求仕様検討

開催報告

出席者：(敬称略)

鈴木耀夫、堀田和雄、坂井永一、今福博之、中村秀夫、大西修一

掲載説明資料

掲載資料名称	掲載ページ
1. 宿泊商品の扱い	2～3
2. 官公庁へのマルセイユ会議報告及び、 国連による国際協調プロジェクト現状報告	4～14
3. 増富の湯情報グラフデータベース化要求検討	15

宿泊商品の扱い

平成27年11月26日

JTREC 鈴木案作成

宿泊の商品の扱い

区分	形式	名称	付帯情報	顧客選択の有無	その他情報	例示
単体商品	西洋式部屋	シングル、ダブルルーム等	部屋の向き、高さ、広さ	無し、有り		
	和式部屋	10畳の間、	向き、広さ	無し、有り		
	和洋折衷部屋	ダブルベッドと6畳の間付				
複合商品	ツアー(プラン)	料理と部屋の旅プラン		無し、有り		
	ツアー(プラン)	地域観光、料理、宿のプラン		無し、有り		
		イベント、料理、宿のプラン				

宿泊(又は付)の商品

(平成27年11月26日 JTREC鈴木作成)

1つの商品(商品が定まり料金が定まる。)

この場合にはいずれも扱いは単純化できる。商品名(商品コード)で代表化が可能。

単体商品 (部屋)

- 1) 部屋の属性で選択肢がありえる。
- 2) その選択肢で在庫がことなり、料金も異なる場合がある。

いずれの場合にも利用者は順々に選択することで良く、内部のアプリで対応が可能となる。

複合商品 (ツアー又は プランと同じ)

- 1) 商品の構成要素に選択肢があり、更に構成要素の個別商品(素材)の
 - (ア) 在庫が有限の場合
 - (イ) 在庫の必要がない場合
- 2) 料金が異なる場合

いずれの場合にも利用者は順々に選択することで良く、内部のアプリで対応が可能となる。

商品、構成の素材、在庫の関連

(平成27年11月26日 JTREC鈴木作成)

商品P	商品在庫	構成の素材A	Aの在庫	構成の素材B	Bの在庫	構成の素材C	Cの在庫	記事
P1	X1	A1	Y1	B1	Z1	C1	W1	
		A2	Y2			C2	W2	
						C3	W3	
P2	X2	A2	Y2	B1	Z1			
				B2	Z2			
P3	X3	A1	Y1			C4	∞	
		A3	Y3					

利用者は
順に確認する
Pがあるか
Aがあるか
Bがあるか
Cがあるか

内部のAppでは構成素材をパターン化することも
あるいは、構成する素材で持つことも処理の都合で
可である。素材に在庫を持つことで良い。

国連による国際協調プロジェクト現状報告

直近の報告資料

観光庁 観光産業課長

西海 重和 殿

国連による国際協調プロジェクト：

アジア太平洋地域小型宿泊施設の

関連データの標準化とe-Market Place構想について

2015-11-26

NPO法人 観光情報流通機構（JTREC）

1

目次

(1) 第26回UN/CEFACT*フォーラム（11/2～11/6）開催	3
■Development of SLH e-Market	3
■ビジネス ストーリー	4
(2) 2015年第4 四半期の主なスケジュール	5
(3) SLHデータの標準化活動と地域経済活性化	6
■標準化技術を出発点とする社会変革の道筋	6
■利用者起点で事業創造する道筋	7
■VISION概要図	8
(4) SLH e-Market Place	9
■考察 旅行者の渡り歩き検索	10
■SLH e-Market Placeの方向性	11
■SLH宿泊事業者のメリット	12
■JTRECの基本的な考え方	13
■収益モデル（APIによるデータ提供、マーケット参加料）	14
(5) 作成レポートと論点	15
(6) SLH写真集	16

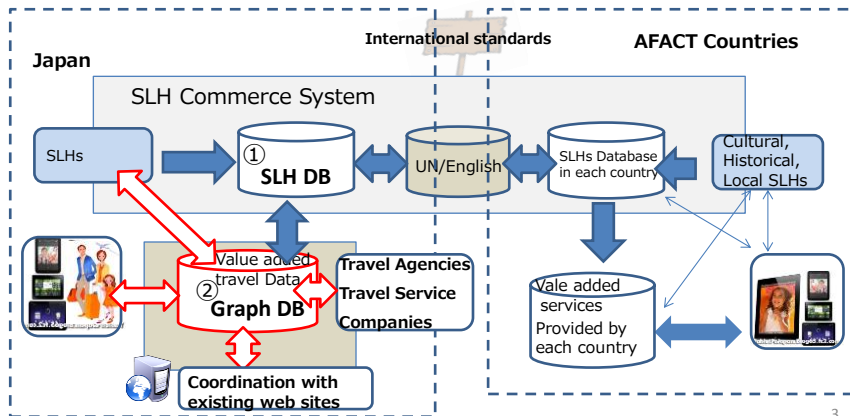
2

国連による国際協調プロジェクト現状報告

- (1) 第26回UN/CEFACT*フォーラム (11/2~11/6) が開催
 ...観光分野においてインパクトのある検討と方向性が承認された。

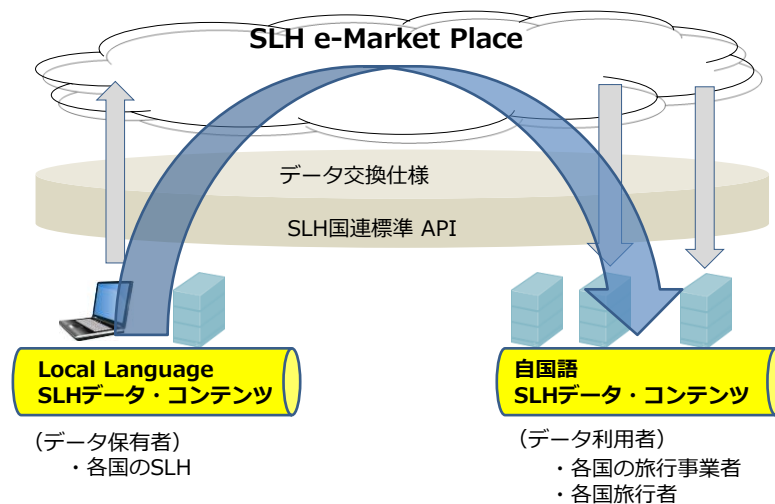
■ Development of SLH e-Market

- 1) SLH Commerce System Development and Promotion Planning (SLH 2nd Stage)
- 2) Travel agencies should be provided with Innovative DTI Database, which could let travelers come to stay SLHs



■ ビジネス ストーリー

付加価値を左から右へ流通する



国連による国際協調プロジェクト現状報告

(2) 2015年第4四半期の主なスケジュール

DTI (地域観光情報)

- 12月中旬にRSMを国連に提出する。

国連のフレームワークに沿ってDTIのドラフトからRSM (Requirements Specification Mapping) を作成し、上位の工程に進む。

- 3月末 標準化適合審査・パブリックレビュー

ハーモナイゼーションプロセス (RSMが国連スタンダードに適合しているかを審査) を経て、パブリックレビューに答申される。

SLH (地域宿泊施設情報)

- 12月上旬 (AFACT) テヘラン会議でSLH e-Market Place事業構想と第二次SLHパイロットシステムの具体化を協議する。

11/2～11/6のマルセイユ会議の結果を踏まえ、SLHパイロットは、ビジネスモデル策定と並行して検討することを改めて確認する。

マーケットプレースを含めたビジネスモデルに関し、進め方やリソースなどの検討が開始される。

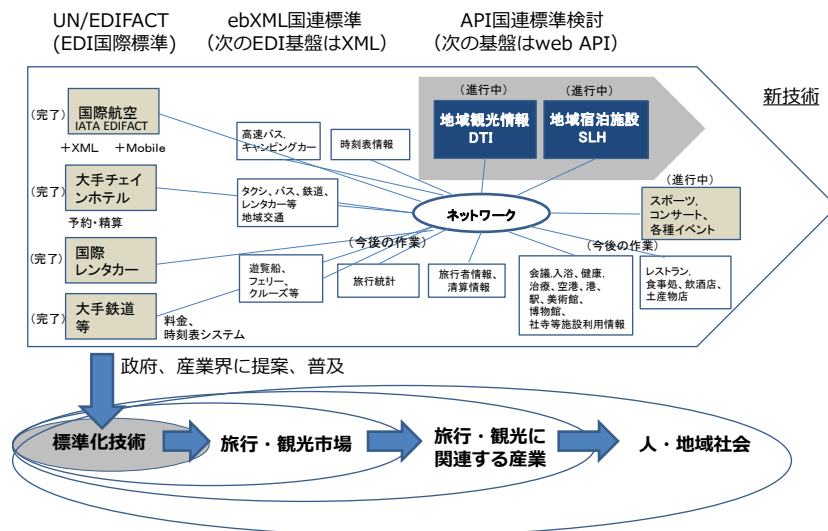
- 3月末 (UN/CEFACT) に開発スケジュールを提出する。

6ヶ国参加のパイロットシステムのスケジュールについては、多言語化やWeb API開発の検討を経て3月末に作成する。

5

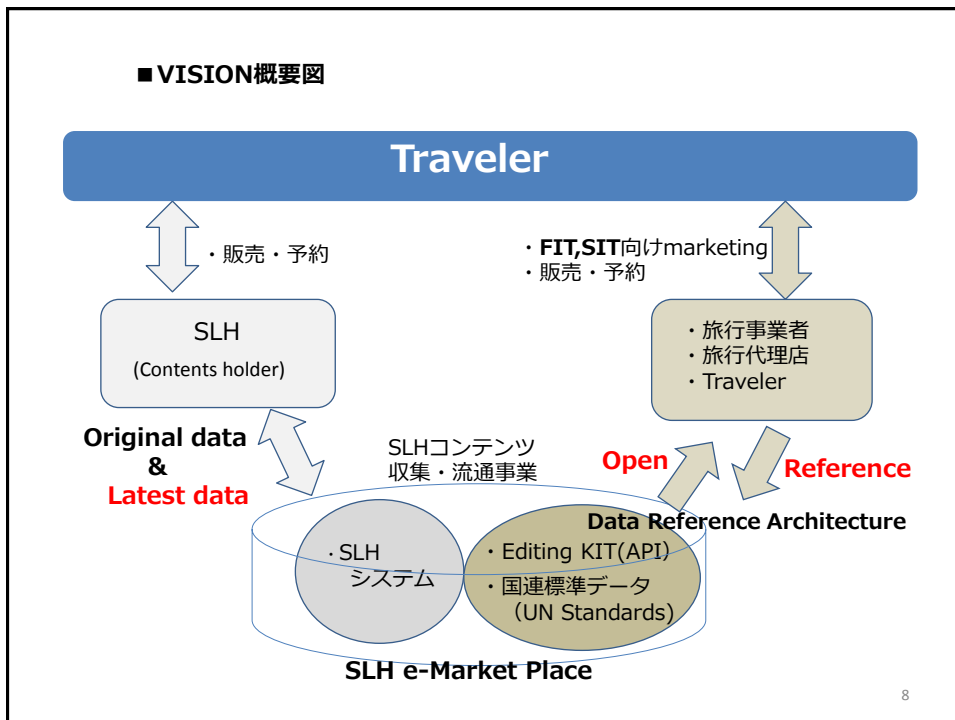
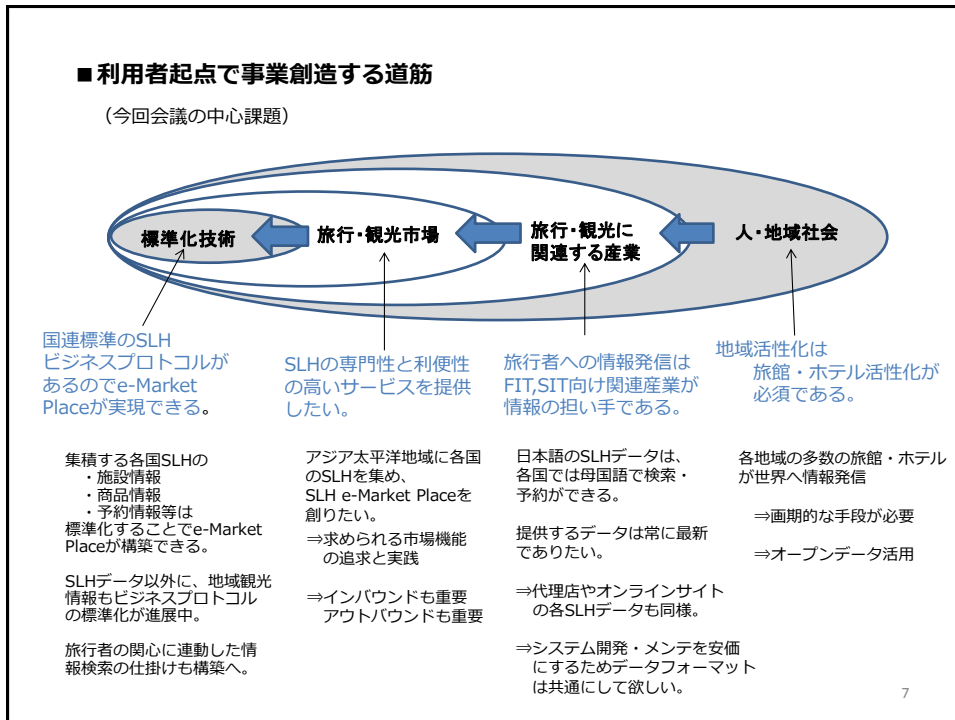
(3) SLHデータの標準化活動と地域経済活性化

■ 標準化技術を出発点とする社会変革の道筋 (UN/CEFACTによる国際協調プロジェクト)



6

国連による国際協調プロジェクト現状報告



(4) SLH e-Market Place

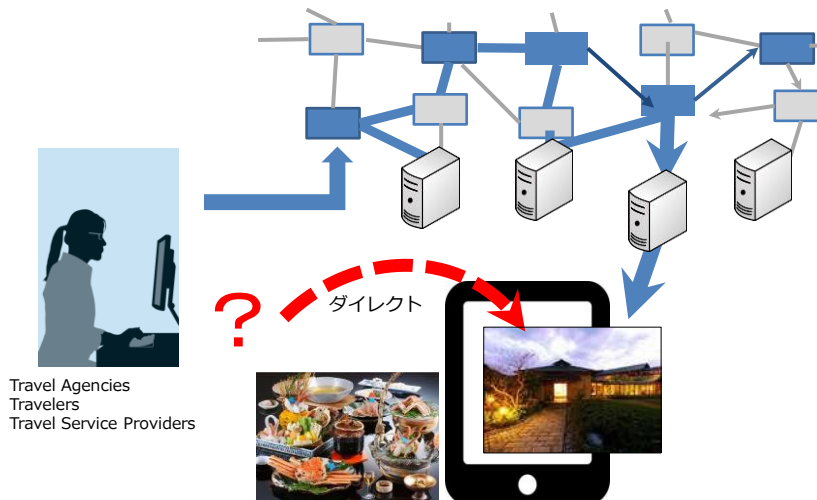
- ・常に更新されたSLH最新データの提供
- ・予約、変更、キャンセル
- ・Basic PMS
- ・各SLHの地域観光案内
(外部の情報検索システムとの連携など)



9

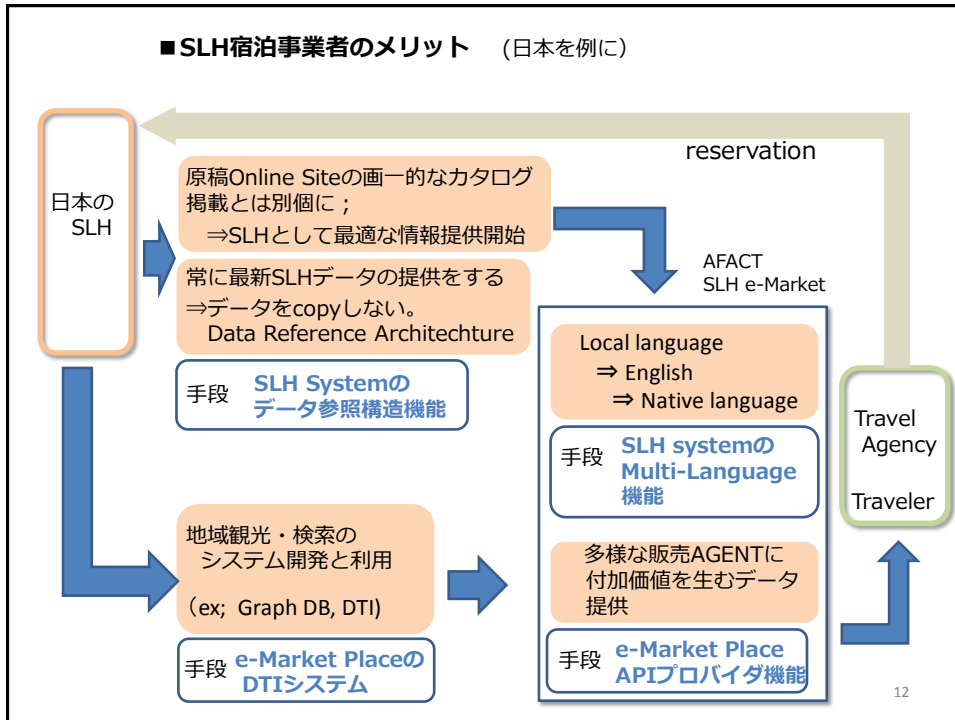
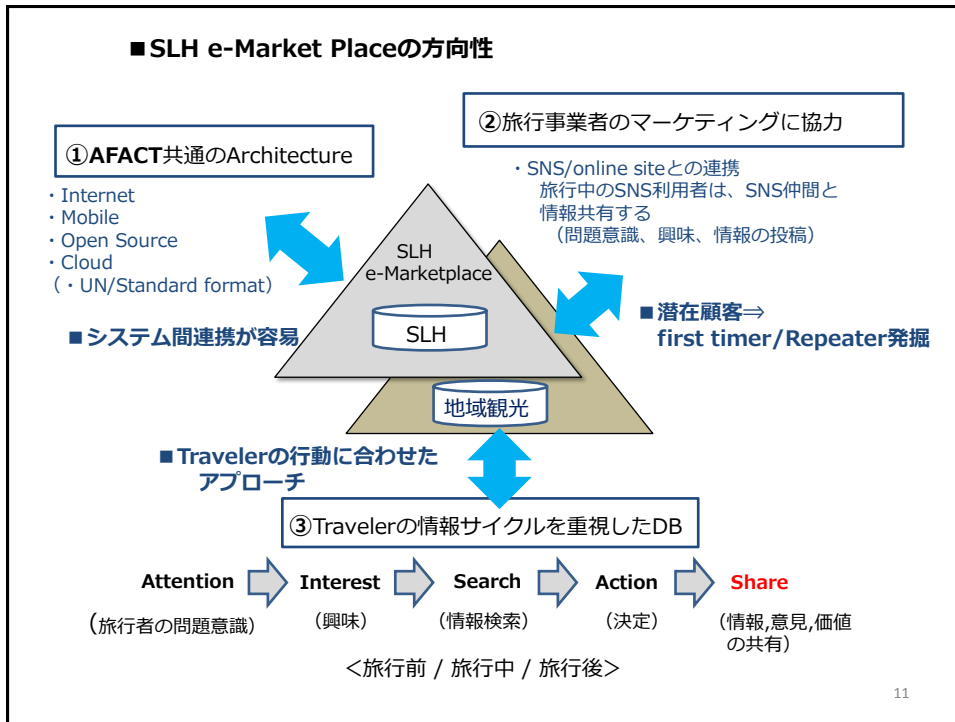
■考察 旅行者の渡り歩き検索

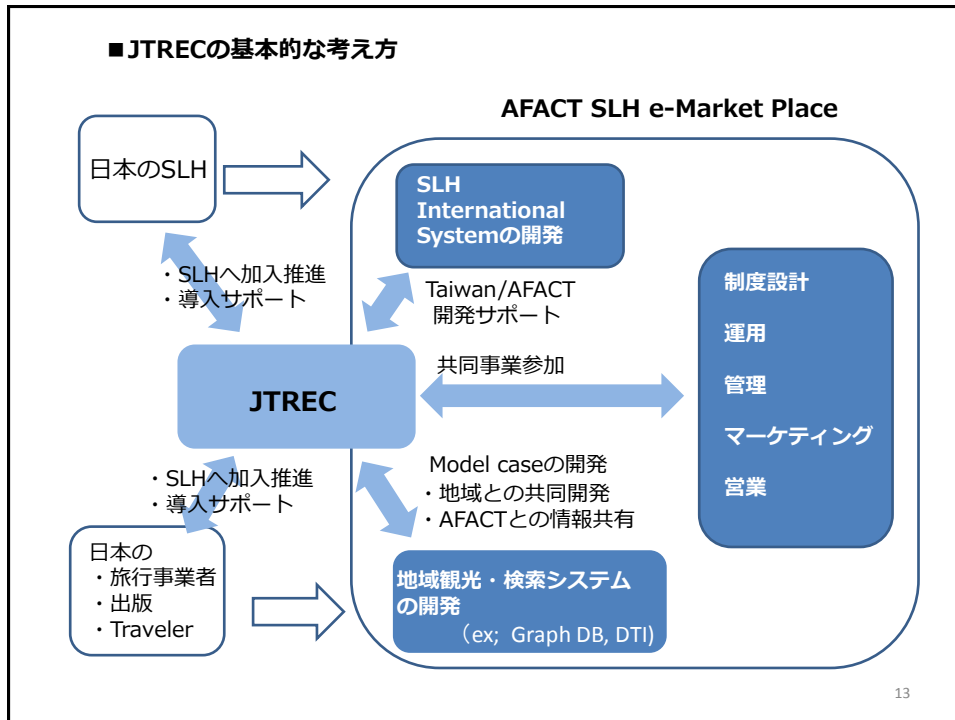
旅行者は判断するため、web site内をタテ・ヨコ・ナナメに検索。
また、各web siteを渡り歩きする。



10

国連による国際協調プロジェクト現状報告





国連による国際協調プロジェクト現状報告

(4) 作成レポートと論点

4-1 レポート

「New Wave to UN/CEFACT SLH」

Our Vision for Coming SLH Information Project

4-2 論点

- ・ SLHとDTI情報の国連標準を完成させ発表しても、旅行・観光分野の実用においては各国の事情や制度の差もあり、単なる普及啓蒙では市場性を得るのは困難ではないか。
- ・ 現在、第二次パイロットシステムの仕様を検討中だが、SLHプロジェクト（6ヶ国）としてビジネスモデルを検討し、その実現のためにパイロットシステムが必要になるという関係にすべきではないか。
- ・ 各論；

各国SLHの宿泊業務は、ベーシックな共通システムで運営できるのではないか。

DTIの実体はメディアである。日本で検討中のグラフDBは動画ができるか。

e-Market Placeによるメリットについて

SLHオーナーのメリット/旅行事業者・関連事業者のメリット

旅行者のメリット

15

(5) SLH写真集

韓国提供のSLH**1) Hanok Guest Houses 100 Properties****2) 韓国モーター****3) キャンピングカー****4) その他**

16

台湾提供のSLH

- 1) Minsu (民宿) 10,000 Properties
- 2) その他



17

タイ提供のSLH

- 1) Farm Houses
- 2) その他



18

国連による国際協調プロジェクト現状報告

インド提供のSLH

SLHs in India: 10,000 (Gov. registered) and 100,000~250,000 (Local gov. licensed)

- 1) Heritage & Lodge 2) Haveli) Farm House 4) Eco Farms & Resorts 5) Serviced Apartments
- 6) Home Stays 他



19

イラン提供のSLH

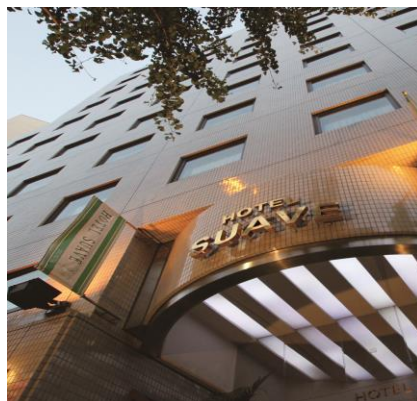
- 1) Leisure type hotel in Kish Freezone Organization, 100 Properties
- 2) その他（イラン本国は将来の取組み）



20

日本提供のSLH

- 1) Ryokan (旅館) 43,000 Properties
- 2) Business Hotel 7,000 Properties
- 3) Minshuku (民宿) 25,000 Properties
- 4) Old Traditional Private House (古民家) 800,000 Properties-Not Registered) 他



2015-11-26

増富の湯グラフデータベース化 要求事項

(1) グラフデータベース化の目的

増富の湯のホームページ、パンフレットおよび冊子類をグラフDBに集約し、グラフデータベースの利点を生かした情報提供サイトを開発する。来訪者にとって検索が容易で、しかも内容に好感度が得られる仕掛けを作る。

(2) 目標

- ・開発時期：来年4月～6月に増富DB第1版を開発する（ソフト開発会社に発注）
- ・テーマ：増富ラジウム温泉峡/国民保養温泉地 日帰り温泉施設「増富の湯」のアピール
- ・方法は、健康に良い増富自然環境の説明をNeo4Jデータモデルとキューエリーで現行のホームページのタブに替わるバナーや検索項目設定
- ・ストーリー：
 - 自然エネルギー（ラジウム、ラドン、原生林/マイナスイオン）、
 - 食材は自営農場での有機野菜、
 - 外科医兼中国医兼温泉療法士 中田医師による健康作り教室を増富の湯で開催、
 - 等を増富の湯と連動させていることをグラフデータベースを活用して表現する。

1

(3) 狙い

若手メンバー（同志的従業員）にとって、グラフデータベースというものが増富の湯事業に役立つことが理解できれば、自分たち現場が担う前提で公募や補助金獲得に踏み出す。具体的には、グラフDBを使った保養施設としての事業計画を立案していく（小山代表談）

構図は、

事業実施/公募申請者⇒増富の湯＋増富地区関係者＋中田医師＋JTREC
 国への申請者⇒北杜市（市役所は何の準備もしなくていい状態にもっていく）

(4) システム

全体：現行web サーバを吸収する
 ⇒ホームページでは健康テーマのアピールがなされていないので
 ノードと写真・videoを駆使するシナリオを作る。
 データ：別添 印刷物参照
 中田医師の教材のなかに響く問いかけがある。

2